

(別記様式第3号)

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博(医)甲第1183号	氏名	濱田亜衣子
論文審査担当者		主査教授	新川 詔夫
		副査教授	石丸 忠之
		副査教授	柴田 義貞
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、過去報告されているマイクロアレイ解析でみられた甲状腺乳頭癌に特異的な遺伝子発現パターンを RT-PCR 法で再現するか否かを検討し、その結果から同腫瘍の安価かつ簡便な術前診断法への応用を図ったもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 過去のマイクロアレイ解析で陽性結果の得られた遺伝子群を用いて、real time PCR および duplex PCR を行い、発現量を定量・半定量化し、最適な遺伝子の組み合わせを統計学的・クラスター解析により検討したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、8種の遺伝子中2種(<i>SFTP3</i> と <i>TFF3</i>)が甲状腺乳頭癌の術前診断に最適な組み合わせであることを明らかにし、今後の臨床応用への進展が大いに期待される研究であり、高く評価できる。</p>			
<p>以上のように本論文は甲状腺乳頭癌における術前診断法の開発、および同腫瘍の発生機構の解明に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			

(注) 報告番号は記入しないこと。